

令和5年度 まちづくり懇談会 会場アンケート 累計

会場別参加者数の推移

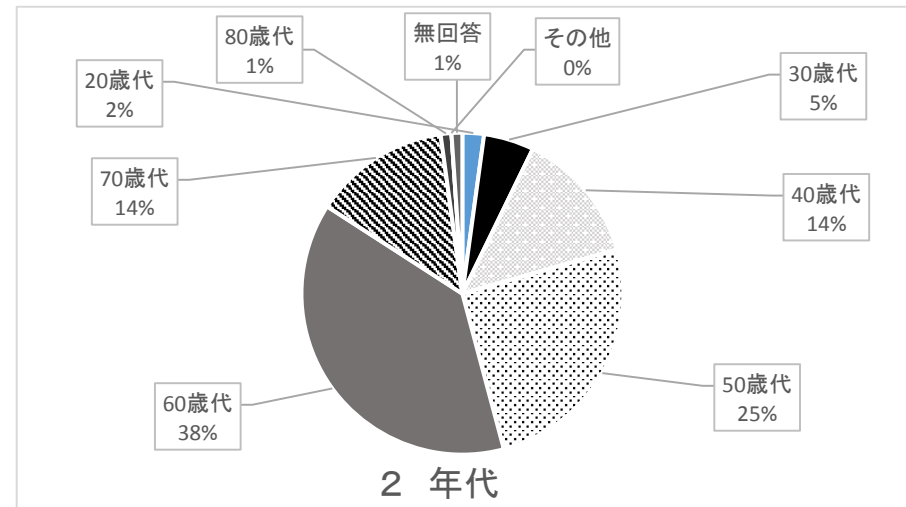
地区	中大塩	ちの	宮川	米沢	豊平	玉川	泉野	金沢	湖東	北山	全地区	合計
R1 (人)	75	105	113	91	67	121	82	104	85	103	22	946
R2 (人)	34	41	51	42	35	48	40	57	44	48	24	440
R3参加市民 (人)	22	27	19	31	21	26	24	26	28	27	10	251
R4参加市民 (人)	24	37	38	28	24	40	25	26	24	32	5	298
R5参加市民 (人)	29	38	40	28	29	43	25	52	33	48		365
R5アンケート回収 (枚)	18	32	33	21	27	31	23	38	20	34		277
開催日	9/26	9/28	10/2	10/10	10/20	10/23	10/26	10/31	11/2	11/6		全10回

1 性別

	累計	
男	234	84.5%
女	42	15.2%
無回答	1	0.4%
	277	100.0%

2 年代

	累計	
20歳代	6	2.2%
30歳代	14	5.1%
40歳代	37	13.4%
50歳代	70	25.3%
60歳代	106	38.3%
70歳代	38	13.7%
80歳代	3	1.1%
その他	0	0.0%
無回答	3	1.1%
	277	100.0%



3 お住まいの地区

	累計	
中大塩	14	5.1%
ちの	36	13.0%
宮川	31	11.2%
米沢	18	6.5%
豊平	30	10.8%
玉川	31	11.2%
泉野	21	7.6%
金沢	35	12.6%
湖東	20	7.2%
北山	31	11.2%
その他	6	2.2%
無回答	4	1.4%
	277	100.0%

4 区・自治会への加入状況

	累計	
加入している	257	92.8%
加入していない	10	3.6%
無回答	10	3.6%
	277	100.0%

5 過去5年間のまちづくり懇談会の参加状況

	累計	
① 今回が初めて	127	45.8%
② 2~4回	105	37.9%
③ 5回	37	13.4%
無回答	8	2.9%
	277	100.0%

6 あなたがお住いの地域について、課題だと思うことは何ですか。（複数選択可） ※上位3項目は色付けしてあります。

中大塩地区

	累計	
①医療・福祉	4	9.8%
②子育て・教育	2	4.9%
③ゴミ収集・環境	2	4.9%
④空家・土地利用	2	4.9%
⑤農林商工観光業	0	0.0%
⑥公共交通・道路	4	9.8%
⑦区・自治会等の役職	9	22.0%
⑧人口減少・少子高齢化	8	19.5%
⑨防災・消防	5	12.2%
⑩入区・移住者の受入	3	7.3%
⑪デジタル化	2	4.9%
⑫その他	0	0.0%
	41	100.0%

ちの地区

	累計	
①医療・福祉	6	5.5%
②子育て・教育	7	6.4%
③ゴミ収集・環境	21	19.1%
④空家・土地利用	16	14.5%
⑤農林商工観光業	4	3.6%
⑥公共交通・道路	5	4.5%
⑦区・自治会等の役職	16	14.5%
⑧人口減少・少子高齢化	11	10.0%
⑨防災・消防	13	11.8%
⑩入区・移住者の受入	6	5.5%
⑪デジタル化	3	2.7%
⑫その他	2	1.8%
	110	100.0%

【その他の記載事項】

- ・議員定数
- ・退区者の増加、高齢化による区行事等への不参加者の増加

宮川地区

	累計	
①医療・福祉	8	8.4%
②子育て・教育	8	8.4%
③ゴミ収集・環境	3	3.2%
④空家・土地利用	15	15.8%
⑤農林商工観光業	0	0.0%
⑥公共交通・道路	8	8.4%
⑦区・自治会等の役職	16	16.8%
⑧人口減少・少子高齢化	15	15.8%
⑨防災・消防	13	13.7%
⑩入区・移住者の受入	6	6.3%
⑪デジタル化	1	1.1%
⑫その他	2	2.1%
	95	100.0%

【その他の記載事項】

- ・保育園の今後
- ・未結婚の若者対策、小学校建替え

米沢地区

	累計	
①医療・福祉	4	6.2%
②子育て・教育	2	3.1%
③ゴミ収集・環境	7	10.8%
④空家・土地利用	7	10.8%
⑤農林商工観光業	2	3.1%
⑥公共交通・道路	9	13.8%
⑦区・自治会等の役職	8	12.3%
⑧人口減少・少子高齢化	12	18.5%
⑨防災・消防	6	9.2%
⑩入区・移住者の受入	5	7.7%
⑪デジタル化	1	1.5%
⑫その他	2	3.1%
	65	100.0%

【その他の記載事項】

- ・無関心であること
- ・退区者の発生、対応方法

豊平地区

	累計	
①医療・福祉	5	6.9%
②子育て・教育	7	9.7%
③ゴミ収集・環境	6	8.3%
④空家・土地利用	12	16.7%
⑤農林商工観光業	2	2.8%
⑥公共交通・道路	6	8.3%
⑦区・自治会等の役職	9	12.5%
⑧人口減少・少子高齢化	11	15.3%
⑨防災・消防	4	5.6%
⑩入区・移住者の受入	5	6.9%
⑪デジタル化	2	2.8%
⑫その他	3	4.2%
	72	100.0%

【その他の記載事項】
 ・市よりの配り物が多い
 ・コミュニティの人員が少な
 なっている。2名→1名手が足り
 るのか？

玉川地区

	累計	
①医療・福祉	4	9.8%
②子育て・教育	2	4.9%
③ゴミ収集・環境	2	4.9%
④空家・土地利用	2	4.9%
⑤農林商工観光業	0	0.0%
⑥公共交通・道路	4	9.8%
⑦区・自治会等の役職	9	22.0%
⑧人口減少・少子高齢化	8	19.5%
⑨防災・消防	5	12.2%
⑩入区・移住者の受入	3	7.3%
⑪デジタル化	2	4.9%
⑫その他	0	0.0%
	41	100.0%

【その他の記載事項】
 ・観光業に依存するのではなく、
 新しい産業を展開する。東京だけ
 が日本の中心では無くなった今、
 茅野市も何らかの中心であり先駆
 的な地域として発展できる産業を
 誘致する。または開発していく必
 要がある。
 ・未入区者・退区者の件

泉野地区

	累計	
①医療・福祉	7	11.5%
②子育て・教育	8	13.1%
③ゴミ収集・環境	0	0.0%
④空家・土地利用	7	11.5%
⑤農林商工観光業	1	1.6%
⑥公共交通・道路	4	6.6%
⑦区・自治会等の役職	10	16.4%
⑧人口減少・少子高齢化	16	26.2%
⑨防災・消防	3	4.9%
⑩入区・移住者の受入	5	8.2%
⑪デジタル化	0	0.0%
⑫その他	0	0.0%
	61	100.0%

金沢地区

	累計	
①医療・福祉	4	3.4%
②子育て・教育	13	11.2%
③ゴミ収集・環境	2	1.7%
④空家・土地利用	18	15.5%
⑤農林商工観光業	3	2.6%
⑥公共交通・道路	11	9.5%
⑦区・自治会等の役職	19	16.4%
⑧人口減少・少子高齢化	29	25.0%
⑨防災・消防	7	6.0%
⑩入区・移住者の受入	7	6.0%
⑪デジタル化	3	2.6%
⑫その他	0	0.0%
	116	100.0%

【その他の記載事項】
 ・遊休農地の有効活用
 ・6市町村合併

湖東地区

	累計	
①医療・福祉	5	9.8%
②子育て・教育	4	7.8%
③ゴミ収集・環境	3	5.9%
④空家・土地利用	4	7.8%
⑤農林商工観光業	2	3.9%
⑥公共交通・道路	5	9.8%
⑦区・自治会等の役職	7	13.7%
⑧人口減少・少子高齢化	8	15.7%
⑨防災・消防	5	9.8%
⑩入区・移住者の受入	6	11.8%
⑪デジタル化	2	3.9%
⑫その他	0	0.0%
	51	100.0%

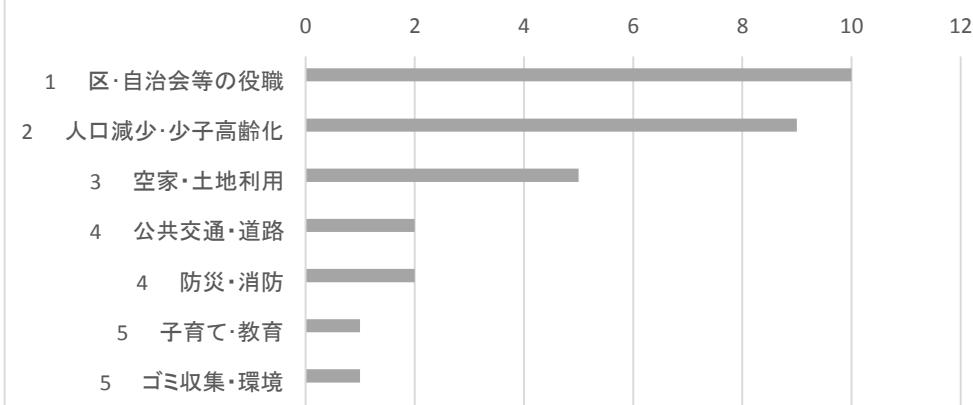
北山地区

	累計	
①医療・福祉	10	8.6%
②子育て・教育	8	6.9%
③ゴミ収集・環境	3	2.6%
④空家・土地利用	17	14.7%
⑤農林商工観光業	6	5.2%
⑥公共交通・道路	15	12.9%
⑦区・自治会等の役職	15	12.9%
⑧人口減少・少子高齢化	25	21.6%
⑨防災・消防	11	9.5%
⑩入区・移住者の受入	5	4.3%
⑪デジタル化	1	0.9%
⑫その他	0	0.0%
	116	100.0%

「地域の課題だと思うこと」各地区の上位3項目の集計

1	区・自治会等の役職	10 地区
2	人口減少・少子高齢化	9 地区
3	空家・土地利用	5 地区
4	公共交通・道路	2 地区
4	防災・消防	2 地区
5	子育て・教育	1 地区
5	ゴミ収集・環境	1 地区

「地域の課題だと思うこと」各地区の上位3項目の集計



7 日々の暮らしの中で、心配ごとがありましたらご記入願います。

少子高齢化・担い手不足

- ・一人世帯の家が増え、将来誰が見守っていくのか心配
- ・子供達が将来、住みたいではなく、住める場所になっているかが心配。住んでいこうと思っただけは、働く場所が大事になってくるので幅広い働き口が必要なのではないかと感じています。
- ・高齢独居者の見守り
- ・高齢化により、出払い等の区の行事や役職不足
- ・山の手入れ 木の処理（倒木）←高齢化
- ・高齢者が増えて何かあった時に対応できない事

- ・人とのつながり。人一年寄り、若い年寄りの活用。ハード面が充実してもソフトの面も大切な気持ちを大切にしないと市民は幸せにならないのでは
- ・少子化←人口減少、未婚者増加、出生率低下 など
- ・親の介護
- ・若い人が地域に定着しないこと
- ・自分も老後を心配する世代となりました。年金があてにならないと言われる世の中、何とか年よりでも収入が得られる様な施策ができないかと思えます。足かせになっている物を取り払わないと実現できない。年金心配のない市となれば若者も寄って来る。
- ・高齢化、動ける人が地域で限られる。様々な役がいつものメンバーとなっている。

区役員の負担・未入区

- ・区役員の低年齢化で現役世代が役員をやらなければならない状態にある。勤めながらの区役員業務は非常に大変である。
- ・高齢化による区役職の負担増（消防団も含め）
- ・個人の権利が保護されていく中でなかなか区の役を強制するような発言をおさえ、お願いしたりしても断られる場合が今後多くなるような気がしています。役を回せなくなるのでは...
- ・役職の成り手（特に環境）
- ・区の役職…同一人が役職名が変わって何年も努めている
- ・仕事をしていても給料がどんどん減り、地区の役員をやっていると家計が壊滅的なダメージを被る事。
- ・役員の担い手減少
- ・役を受けていても次の人が決まらず、やめにくい状況にある
- ・区の役員の引き受け手不足+入区者減又は退区者増のため区財政が成り立たなくなりつつあります。
- ・高齢化が進み区内役員が有事に活動できない、区民のこまりごとを担う人が高齢になっている為どうすればよいか？
- ・区の役員の担い手不足 役員の会議の回数を軽減できないか
- ・役員の負担多し
- ・区の行政の将来のあり方
- ・少子高齢化による区会のコンパクト化すすめたい
- ・高齢化が進み、新しい人が来ても入区をしない。区が成り立っていない
- ・居住者の区への入区について、消防総合計画
- ・高齢化と入区しない人が増えてると思う中で、区政や区が成り立つのか
- ・自治会に加入しない人が増えていくのではないかと（加入する方、しない方に対してのメリットデメリットをはっきりさせる）

地域でのつながりの希薄化

- ・人との接触を避ける人が多くなってきている。
- ・DX推進だけでは地域コミュニティの希薄化を進めることにならないか
- ・地域コミュニティの希薄化
- ・地域への帰属意識の少ない人が増えているように思う

防災・消防

- ・安心・安全な暮らしを確保するための防災・減災の組織化されたシステムの構築できているかを危惧している。
- ・災害の土砂が心配
- ・災害時、実際にどう動くか、備品の活用等、具体的な準備はどうなっているか？宮川の災害を踏まえて具体策が見えているか？南海トラフ・糸静断層の危険率は高い。民生委員として実際の場面でどこまでできるか心配している。
- ・地区で震度6~7の地震が発生した場合の実効のある防災対策が策定されていない
- ・気候の激変、記録的な大雨がいつでも起こりうる状況がとても不安です。
- ・防災に関し茅野市各地域の実状を市としてどう把握し、対策立案を実行する。
- ・消防団に入団してもらえない。なので、消防団をやめられない

生活環境・空家・農政

- ・ゴミの収集（他地区の人が置いていくため可燃物以外が多く処理が大変）
- ・ゴミステーションの使用・維持に関する問題が解決できない
- ・ゴミ問題、特にアパート住人
- ・各事業主も社員教育としてゴミや区役等の問題について取り組むべき
- ・近所、地区内でアメリカシロヒトリが大発生し、洗濯物についたり、大群が壁についたり気持ち悪いわで大変だった。用水路の水不足・ゴミの問題
- ・桜の木に毛虫が大量発生しました。事前に対応して欲しいと思います。
- ・空き家対策、水路（大雨対策）の点検
- ・空家が増えています。もっと対策強化を。
- ・農業の今後をどう考えるのか。農業の収入はどうなりそうなのか
- ・農地の荒廃化10年後には金沢は草、木だらけになる
- ・農地の再利用
- ・子供が2人いるが、孫が3人とも女性のため多少ですが田んぼ、畑の管理が今後できるか心配。
- ・非農耕地が増えている。放地が多くなれば景観も悪くなる。もう少し農業を守る事を考えて欲しい。
- ・鳥獣被害
- ・木々を切り倒したり、田園風景を様変わりさせているソーラー畑の中での暮らしが不安。
- ・土石流災害が心配です。山には倒木がたくさんある、対策をお願いしたい

道路（通学路）・公共交通・ライフライン

- ・道路、両側に低木や草が伸び放題が目立つ
- ・理科大の歩行エリア確保（夜間に大学→鬼場橋までの間）道も狭く歩道の無い道を歩いて危ない
- ・子供の通学路で危険箇所が見られる。しっかり直してほしい。
- ・旧国道20号の道路整備（舗装など）が年々悪くなっている。ぜひ整備をしてほしい。
- ・道路がガタガタで車が壊れる。中途半端な無電柱化。
- ・通学路の見通し、歩道整備→歩道がない箇所は極力さけてもらいたい。
- ・通学路に街灯がない。通学路が狭い所が多い側溝の上は歩道ではない
- ・歩道の整備をしてほしいという保護者からの話がありました
- ・買い物について、「のらざあ」の利用方法を市から発信していただきたい。（ときどきしてもらいたい）
- ・「のらざあ」の朝と夕の時間帯に予約がなかなかできない、混雑状況を事前に見るようであればありがたい。
- ・10~20年後に車の運転が出来なくなると買い物難民となる。のらざあのみで対応可能なかな？
- ・公共交通が全然なくなり、特に高齢者の方の移動は大変です。のらざあだけでは利用しづらい点があります。少しずつ変えていただきたいと思います。予約が取りづらいです。
- ・高齢化にともなう足の確保が将来的に安定して確保できるのか？「のらざあ」が恒久的で上手に運用できるよう、改善し続けてほしい
- ・のらざあの継続性（将来の関心事）
- ・高齢化が進み自動車免許の返品により、足が無くなる為、「のらざあ」をもっと柔軟にしたい。自宅に来てくれないか。自宅が無理なら、もっと利用しやすいようきめ細かいこと、住んでいる所の近くに来てほしい。
- ・蓼科ビレッジ内での子供送迎バスの運行をしてもらえたら助かります。（車山方面は運行している）
- ・通勤・通学のみならず日々の買い物にも自家用車は不可欠な状況。将来運転できなくなった時が心配。
- ・高齢者の交通手段の確保、安心して暮せる体制
- ・自家用車なしで生活できるか心配
- ・将来、車が使えなくなった時にとっても困ります。白樺湖には観光客しかいないと考えられると困ります。差別をなくしてほしい。
- ・公共交通の充実・水道

子育て・教育

- ・小学校のことを案じています。単純に数合わせで廃校になるとしたらますます若い方々に選ばれない地区になります。現状として現在小学生が1人でも2人でも増えることに喜びを感じ、移住などによりさらに増やせないものかと考えているのです。小規模校の良さは沢山あります。どうぞその点にも目を向けて下さい。
- ・教育、福祉を大切に力を入れてくださっている実感が、茅野市に住んでいてあまり感じていません。子育てしていくことに少し心配です。

経済的負担の増大

- ・税金は上がるのに給料は変わらずで子ども達の将来が心配です。
- ・税金（相続税、固定資産税等）
- ・家計、会社会計等、資金管理と人材確保
- ・子供の養育費、生活して行く中でのお金の事
- ・物価高騰
- ・介護保険料の高額化

その他

- ・財政、収入、観光、企業誘致の推進
 - ・市民が市政を考える機会が少ない事
 - ・茅野市から縄文に関連する事象が 少しずつ 少しずつ なくなっていくことに大変な危機感を覚えます。市長はイベントをやればいいというものではないと、言いますが 特段の対策をとるわけでもなく、イベントさえ行えなくなっている茅野市の状況には大変悲観してしまいます。茅野市を含む周辺地域の縄文文化は日本にそして世界に誇るべき素晴らしい内容を含み、地域の大切な財産です。これが生かされないことを大変に残念に思います。
 - ・病院が遠い
 - ・市職員が遅くまで仕事をしているようであるが、軽減についてどう取り組んでいるのか
 - ・具体的ではありませんが、将来・未来に心配は当然あります。
 - ・市政にみんな関心が薄い。
- 投票率が低い！！

8 市政に関して、もっと詳しく知りたいことがありましたらご記入願います。

DX・デジタル化
・ネットワークの会議は進んでいますか？
行財政改革
・ 財政改善施策計画に関して ・ 行財政改革については、これからも市長が先頭に立って旗を振っていただきたいと 思います。市の問題になっている事は区でも同様のことで、考え方も変えていくことは難し いことで市と一緒に取り組んでいかなければいけないことだと改めて考えられた。 ・ 公共施設統廃合問題 ・ 公共施設について 利用者減少や維持費高騰の推移をグラフで市民に説明し、アンケートで 施設の優先度や廃止の必要性の有無を問う。コミュニティセンターや温泉施設などで進めて ほしい。解体費用も高騰していくので早めをお願いします。 ・ 選択と集中の具体案 ・ 小泉山の事業について、今後どうしたいのか ・ 歳出を減らす取組はいくつか検討しているが、歳入を増やす取組があまり見えない。数年 後に向けた大きな取組はあるかが疑問 ・ 新聞等で見直しや売却する施設の具体的理由をもう少し詳しく知りたい ・ 市議会議員の定数は、現在の人数が必要なのか。1人減らせば年520万円、2人なら1千万円 ・ 市職員の給料、手当て、支出の削減 ・ 子供だけでなく、全員の「収入」を増やすためには流動性を良くすることだと思います。
区役員の負担
・ 各区の役員のなり手不足について「各区の考え方もあるので」との話をお聞きしたが、そ の『各区の考え方』と『若い世代と高齢世代の溝』などの問題はどのように捉えられている のかなど、役員のなり手不足解消について具体的な見解をお聞きしたい。 ・ 北山地区の主な課題の2（区・自治会役員の担い手の不足と負担の軽減）と同じ。負担軽 減、辞めれる事はやめたい。市からの要求が多すぎるのでは？
産業振興・魅力発信
・ すずらんの湯がなくなるという噂を聞いていますが、白樺湖で核となる場所になっていま すので、なくさないことを望みます。 ・ ふるさと納税の5年後、10年後増税をめざして今から新規特産物を作らないのか？ ・ 茅野市は 情報発信をもっと行うべきかと思えます。Facebook やインスタのアカウントは ありますが、 広い茅野市で多くの事象を網羅するのはとても大変かと思えますので、例えば 市役所の内政を主に発信するアカウント、 歴史考古学 等を中心に、山や自然といった観光 をアピールする、など色々な分野でそれぞれ中心となる核をもって、情報を発信をしてはど うでしょうか？市政に関心を持つこと 色々な動きを 理解してもらえらるそういったプロセス がよりスムーズに進むかと思えます。 ・ ゴミのこと、子育て、教育、市政のこと、もっと聞きやすくしてほしい。ネットは公開が 遅い。 ・ 市役所、各部署の仕事内容。何をしているかよくわからない
公共交通
・ のらぎあですが、茅野と原村とあるようですが別システムなのでしょう
環境・農政
・ 太陽光の蓄電で電気料金が安くなりませんか。茅野、原、富士見は条件が良いので ・ 再エネの方向で、森林の多い茅野市でチップ利用←間伐材の方向はどうなっているか？ ・ マツノザイセンチュウの情報を集めておられましたが、またどの辺で出た等の情報を広報 に載せていただけると嬉しいです ・ 茅野市の良さ—自然環境の豊かさ—森林、農学の発展、自給率向上のための施策は？大規 模農学と共に、有機栽培の推進、化学肥料・殺虫剤の利用を減らす農学を市の柱として進め られないか
子育て・少子高齢化
・ 子育て、福祉、教育の部分でどの位の予算があり、どのように使われているか詳しく知り たいです。 ・ 少子高齢化に関して、もっと女性が活躍できるような体制作りが必要ではと思うが市行政 の中で、どんな施策がとられているか？ ・ 少子高齢化、人口減少に対しての行政ビジョン

その他

- ・ 企業誘致は積極的に進めていただいていますか？茅野市だけでなく、他市町村も動いていると思うが。
- ・ 茅野市の向いている方向性が見えない。インバウンドの誘致というけれど、観光客に優しい茅野市ではないし、移住者を誘致というけれど、多くの家があっても水道を引かないところが多い。
- ・ どうしてあんな豪華な学校を作ることになったのか？市民に寄り添う気持ちが？お金が足りない、効率化を考えることは大切。
- ・ 全体的なことを具体的に知りたいです。
- ・ 今日は有意義な会となりました
- ・ 普通の会社で赤字ならボーナス出ないのに役人はどうしてボーナスが出るのですか？
- ・ 市の職員も横のつながりを持ってほしい
- ・ 議会の議事録（議員質問）は入手できますか

その他（自由記載）※住所・氏名の記載があり回答を要する方には、文書にて回答しています。

DX・デジタル化

- ・配布物のデジタル化はやって欲しい。できる人から始める方法で良いと思う。デジタルに対応できない人は配るで良いと思う。
- ・DXがどの程度まで進んでいるか分からない。計画と進捗はどこで分かるのか
- ・区の見聞を載せられるHPを提供してもらえるとありがたいです。

行財政改革

- ・財政の改革には、茅野市の広域性をどうするかにメスを入れないと解決策（効果大）につながらないと思う。高齢者への福祉は、近い事が前提と思う。温泉、コミュニティセンター、学校保育園等が近い事が重要に思います。中山間地域からは、公共施設を統合しないことも視野に入れてほしい。
- ・公共施設、統廃合に関して直接利害のある人へのアンケートの実施。コミュニティセンター職員は公務員でなくても良いのではないかと。
- ・保育園は民間が入っていますが、公共の施設も民間に委ねて改修を含めて運営を任せられた方がよいと思います。
- ・保育園、小学校、中学校等、老人ホーム現場の意見を尊重してほしい。机上の議論だけではだめだと思います。教育者の教育（親、先生等）
- ・学校の統廃合はもとより、地区・区の統廃合も検討されたい
- ・基金がコロナの時代は増えた→色々な行事が減った。※税金も減っているはず。内容はそれぞれあるとは思いますが。コロナの予測ですが規制が取れると行事が多くなって？基金が減少している※税金は増加だろうと思います。内容を分析をして何が必要か不必要かを見直しては…
- ・茅野市の財政面が厳しい事を痛感する
- ・税金が減っているのなら、職員のボーナスカットは考えているのか。企業であれば収入が減ればボーナスは出ない。税金で給料が出ているなら、まずそこから考えるべきでは？
- ・IT技術の進歩への対応について、将来予測を含め明確に。
- ・コロナで中止していた行事会合等の存在意義を再検討し、コロナが明けたから無条件で再開しますというやり方は好ましくない

区役員の負担・未入区

- ・役員の負担軽減策で配布物の電子化は高齢者には無理ではないか
- ・区役員の成り手不足。未入区者が増え、入区者が交替でいろいろやっている事があるための不満をよく聞く
- ・区議会議員のなり手不足についてです。やることを減らし、デジタルにできそうな所は、デジタル化する。防災訓練、草刈り、ゴミ回収のみ残し、区の祭りやゴルフやコンサートは廃止。会議は、オンライン、見聞板は、グループラインにする。役員数の項目を減らす。そうすれば、役員を担える人が出てくると思う。
- ・公民館組織として、役員の選出が非常に難しい状況となっている。今後は組織のスリム化をせざるを得ないと思う。それは区会（区長、区議会議員）も同じこと。上記の役員にジェンダーレスの時代にあって、人材を男女関係なく求めなければいけない時代になってきていることを市としても力添えをいただきたい。
- ・現役世代が役員をやる場合、市とのやり取りにおいて、平日業務時間では対応が難しい。土日でも対応できるようにならないか？特に区長の業務が生活に大きな影響を与える。
- ・移住者の入区問題が多発する様な事がありそうです。根本的な問題を解決してください。
- ・未入区の方に対し、ゴミの処分場へ持込むよう伝えてほしい。どこに捨てても良いと言われたと未入区者より言われており、区で皆で維持している事を理解してもらいたいのと、だからこそ入区が必要との認識で話してもらいたい。
- ・まちづくりの原動力は人と人との「交流」という考え方はそのとおりだと思います。しかし、現実には未入区者の増加等で地域のコミュニティが次第に弱くなってしまっているのも現実です。難しい課題です。
- ・未入区者のゴミステーション使用問題。入区しないことによるデメリットが、必要である。
- ・入区条例については罰則規定は設けられないということで承知しましたが、入区する事へのメリットデメリットを明確にして入区に誘導する事が必要であると感じました。罰則がなくてもデメリットを与えないと、結局入区しない方がお得と思われる。そしてそう考える若者も増えてきたら困る。
- ・地区の問題を並べてなき事を言っても現状を変える事はできない。私は地区をどう活性化するかは地元が話し合って本当の対策を打ち出さないとできないと思う。市の協力は必要であるが、地区が主役とならなければ前進はないと思う。

道路・公共交通

・少し違う問題ですが、神之原の9常会、10常会の総会で丁場の雪かきでもめ事がありました。最近できた道路で中央病院上信号から東海高校間の市道の歩道ですが、道沿いに家はあまりなく、最寄り的人はいません。東海高校の生徒たちが多く通る歩道で、市道なので、市で雪かきはできないのかという意見がでました。要望も出したいのでお願いします。グリーンラインの神之原の所も同じです。

・東海大諏訪高校からサンライフに通じる道路に街灯を設置して欲しい。計画の有無を返答願いたい。緑区入口の歩道（県道）と川の間が狭く歩く巾がないため、（案）歩道を変える（4m～5m）下方にずらす。

・米沢小学校前の工事について：工事が夏休み明けの日から始まりました。子供達も危ないので休み中に行ってください。

・北部中学校通学路：今の進捗状況を教えてください（色々進めていただきありがとうございます。）

・道路整備がまだ進んでいない（たとえば市役所前の通のデコボコであり、茅野どんぱんには支障をきたす）

・要望として、国道路肩高齢者通行に支障がありグリーンベルトと区内徐行を促して欲しい。区内道の舗装、水路改修をぜひお願いしたい。市街の除雪は充実しているが、北山地区も少しでも良いので区で除雪している補助を考えられないか。

I：生活環境インフラの再確認

① 国土省令和3年度調査(今年発表)の全国道路・街路交通情勢調査 報告によると朝夕旅行速度（混雑時旅行速度 信号待ち・渋滞含む）の推移（平日）によると

・高速道路：80.7 km/h

・一般国道：34.9 km/h

・都道府県道：29.2 km/h とありました

② 国道152号線 鬼場交差点～新井交差点 3.5km区間を朝夕混雑時速度で計算すると

・ $3.5\text{km} \div 34.9\text{km/h} \times 60 \div 60 \approx 6\text{分}$ 全国の混雑時速度で走行しても 約6分

・鬼場交差点～新井交差点 間の実際所要時間は夜間等スムーズに通行出来たときで約6～7分 日中通常時10分程度、雨天時15分程朝夕通勤時間常15分以上（20分近い時もあり）日中に於いても ナビのVICS 渋滞マーク表示されること多く渋滞の常態化路線

③ 茅野市から転出された事例も

最近、各企業高速通勤が常態化しているが、伊那方面或いは松本・塩尻方面へ通勤されていた方で “高速ICまでの時間がバカにならない” “ノロノロ渋滞のためアイドリングストップも意味が無く 燃費・車の消耗も大きい” 等の理由で勤務地付近へ転居された事例も聞いています

※私自身が駒ヶ根まで約60kmを高速通勤した経験ですが、家を出る時間を5分遅らせると到着時刻が10分以上遅れていました

II：安心・安全な生活への影響

① 以前、まち懇で問題提起した事が ありましたが、“上下線共に渋滞時 緊急車両走行に出会し退避行動がなかなか思うようにできない事がありました” 緊急車両が思うように走行できない街が、“住民に優しい安心・安全の街 とは言えないのでは？”

② 安心・安全な街づくりの事例として

・私は北陸の出身ですが、私が小学校低学年の頃（約60年近く前）市の市街地を囲むように車道幅10～12m（現在の152号と ほぼ同じ）環状バイパスが 整備されました

・更に今から30年ほど前に同環状バイパスの国道共用部分が片側2車線化と同時に市街地中心部 縦横の貫通路も12～14m 道路に整備

・10年程前に帰省した際、従来の環状バイパスの外側数百mに25m幅の第2バイパスの整備が始まっていた。その後同級生でもある地方議員に “従来からのバイパス外側に何故…？” と聞いたところ、

“災害時に自分の身を守るため 水と食糧 備蓄は自己責任で準備する必要がある”

“しかし、個人では絶対に対応できない事があり自治体が手を打つべきで それは緊急時医療”

“大震災などでは、道路脇電柱の倒壊が予測され 従来の道路では通行が寸断される”

“災害時 住民の生活を守る上で重要なことは緊急車両の走行を守ること”

“幅の広い道路では、電柱が倒れても交通が遮断されることはない どこか必ず通行できる”

“従って、警察・消防・中核病院は 交通が寸断されない道路付近に施設するべき”

“市内主要幹線道路を安心できる道路とすることは、日常の渋滞対策と併せ安全対策としても重要”

“災害時体調不良高齢者や歩行困難な怪我人に対し、電柱撤去するまで我慢してとは言えない！”

“諏訪地方って糸静線の上だろ…！大丈夫か…？” “マップ見てないの…？” と言われた

道路・公共交通

③ 改善進む社会インフラ（ここ数年 趣味で一般道利用の車中泊旅をする中で体験した部分含む）

・昨秋 瀬戸内～福岡・大分、今年も青森・秋田・山形、関西 琵琶湖周辺～北陸 旅する中で全国各地に高規格幹線道路が増えているが、県内では見掛けない（何故？ 政治力不足？） 高規格幹線道路 2年前 兵庫・鳥取・島根を回った時にもかなりの距離供用されていた

・瀬戸内側及び東北地方各市、更には滋賀守山・福井勝山・大野 等 山間市でも市街地中心部付近片側2車線化整備されていた

・山口県萩市役所前の様に35m道路が必要とは言わないが、せめて152号の平均速度を全国並みに近づけること出来ないか？（永く都市計画を疎かにしてきたツケか…！）

※道路環境インフラ後進県（道路整備率40位近い）とも言える長野県にあって諏訪地域は更に遅れた地域であると思う 特にここ数年全国を旅する中 他地域を見ることで痛感しています。諏訪の現状を肯定するのではなく、客観的に他地域との比較をする中で、魅力度アピールして貰いたい。

兎に角、現状では “井の中の蛙” “狭い見方での自己満足郷土愛” としか…！

・のらぎあの利用方法がわからない高齢者がいます。のらぎあの観光地への対応を早急に検討してもらいたい。

・のらぎあはとてもよい事業だと思います。

・通学・通勤バスについて：米沢線を始発にさせていただきたいです（要望提出済）

・のらぎあについて：帰りの利用は予約しづらく、タクシーを利用しています。少しでも補助していただければと思います。利用者がのらぎあに乗り込む際に落ちて、腰と頭を打ち今も食事が作れず弁当を取っています。声掛けや気配りをお願いします。

・のらぎあの事業はとても良い事と思っていますが、スマートフォンを持っていない親は利用しづらそう。また、のらぎあのドライバーさんの運転が荒いと思います。乗客が乗っていないと思いますが、スピードや交通法規を違反してるのを、かなりの頻度で見かけます。指導したほうが良いと思います。

環境・空家・農政

・アパートの人がゴミの捨て方で困って、不法投棄されている場合があると思います。市ですべて捨てられる場所、そこで指導をして欲しいと思います。

・ゴミの問題についてはスピード感が無さ過ぎる。改善の状況を数字で見せてほしい。動きが遅い。その感想しかない。昨年のまち懇で市長の指示で各アパートにゴミ捨て場を設けることについてはどのようになったのか報告して欲しい。（区長会、環境委員会）

・太陽光発電 初期のものは寿命になってるころ。業者が逃げ出して放置されないか危惧する。

・住む場所として 住んでいない家が多くなってきている（家は立っているが）田畑も荒れている。今後の管理で市外、県外の人が借用できないか？国も絡むと思いますが。

・空家対策はどうなっているのか？下諏訪みたいにできないのか？街全体が暗い(色々な意味で)

・茅野市は6市町村の中でも最も広い面積を有しています。農地においても水田畑地等農業の一層発展のために農業政策を充実してゆく事を希望します。

・売木村では（森林の割合が多いという状況から）100年先までの森林の管理・生産・環境の将来像が描けていると聞く。森林75%の茅野市はどうか？財産区の多い茅野市としてどう方向性を見出すのか？（財産区も悩ましい状況と聞く）

・茅野市の農学振興を積極的に進められることを希望します。

・農地を錠来的にどうして行ったらいいか、農業を継続できる環境を整えるか、農地以外に転換して行くべきなのか。

・土地を主とした私有財産について、所有者が亡くなり、宙に浮く事例が増えている。せっかく耕作を頑張っている中に、荒れ地となって手に負えなくなる

防災・消防

・消防団の操法大会を行わない様にして欲しい。茅野市消防団総合計画で市の操法大会をやめ、出場の希望が複数あった場合には選考会を行うことにいただいたことで、多くの消防団の負担軽減に繋がりました。しかし、一部の区においては操法を行うことが、地域の男として認められる条件の様な雰囲気があり、負担が軽減していません。そのため、ここ数年に入部した団員は会議にも出てくれず、活動自体危うくなります。また、操法をしている状況では、区に若者も戻らず過疎化が進行します。

・消防団員の確保が難しくなっており、市消防を充実してほしい。

子育て・教育・福祉

・今回のまち懇のテーマ「大切なものを守るために・・・」は自分にとって大切なもの、守りたいものは何かを考える良い機会となりました。

発言させていただいたように、私は「子どもと地域の人たちとのつながり」を大切に、守っていきたく思います。それにはやはり、ここに小学校や保育園があることに大きな意義があると考えています。自分が育ったこの学校に自分の子どもを入れたいと、都会からまた他の地域からやってくる子育て世代が少なからずいます。これからも、そう思えるような若者たちが増えるよう、私にできる事を精一杯やっていきます。

・学校給食をできるだけオーガニック食材にして欲しい。有機野菜を作る農家を茅野市が支援して農業をやりたい人を増やす。食育にもっと力を入れてほしい。千葉県いすみ市は給食のオーガニックと無償化をやっているし他にも参考になる自治体はあると思います

・子供を中心とした企画（体験学習）他県からの募集で親子で茅野市へ→学習の後、食事・観光・遊び・買い物の充実へ

・小中学校の統廃合について、「当事者たちの意見を聞いてほしい」と言いたくて今日参加しました。教育について当事者とは児童とその保護者かと思えます。私は、単に数値の上で統廃合して校舎が新しくなることは全く望んでおりません。このチャンスに、1校でも特徴のある学校になればいいなと思います。例えば伊那小ではこの60年間通信簿がないそうです。優劣をつける教育から離れられる1つの好例だと思えます。伊那小は全国からの移住の希望者も多いとか。といった意見を子ども、大人、女性、みんなで意見交換したい。今日はスーツの人が多くてびっくりしました。やはり私のような年齢の女性が自分から出ていく機会（勇気！）も少ないと思います。教育長各校長のご意見も聞く機会が欲しいです。

・小中学校、保育園統合の話がありました。笹原保育園は少人数で廃園や統合という話がありましたが、現在は民間の野あそび保育園ささはらとなり、他市町村の子どもも通い、人数割れて30人ほどになっていますよね。統合する事が子どもの勉学にも良いという話がありましたが、統合することで勉学が良くなるというのは疑問があります。統合以外の活用も視野に入れていただきたいです。

福祉、教育についても、お金の必要な面、総合的な面も理解します。子育て世代の声が届きやすいよう、子育て世代の方とまち懇できる時間帯にもしていただくなど、小さなことから改革、変化をしていただきたいです

・学校制度について、特認校制度をとり入れる考えはありますか→もしないようでしたら希望します

・子育て支援を充実してほしい。保育士を増やしてほしい

・茅野市では福祉医療費は15才まで500円となっていますが、岡谷・諏訪市も18才までとなり、県下15才までとなっているのは、少数の自治体です。ぜひ検討をください。

・経済的に困窮している家庭の実態把握ができていますか 対応は？

まちづくり全般

・泉野地区は農協も無くなり、診療所も無くなり、店1店になっている。自然が良だけでは若者は市外へ出ていく、又帰って来ない。こんな泉野をどうしたら若い人が残り、帰って来てくれるか話し合う場、世代間交流会等検討してもらいたい。

・地域のほこりである縄文文化を守り、知らしめ、多くの市民が関心を持てるよう、市としてしっかり取り組んでほしい。

・もっとスピーディーでメリハリのある、そしてセンスある行政運営をお願いします。

・補助金目当ての活動について、市長さんが言及された。そのとおりで、下からの要望、意欲が基本のエネルギーだと思う。富士見町の小さな若い人達の活動が多いのはそうした意欲・希望が感じられる。（うらやましい）

・茅野駅（特に東口）の送迎場所について、特に特急列車の到着の頃、ロータリーの送迎場所のところに大型バス（観光バス）、ホテルの送迎バスが沢山停車している時が多々あります。その時には乗用車が入っていても止められず、通路上（ロータリー内の）に停止していたりと、大変な混雑している時をよく目にします。こちらは移動したくても動きがとれない。例えば、観光バス、送迎バス等の待機場所を別の場所に検討していただきたいです。バスと乗用車の場所を区別してください。※ネットで夜間相談窓口一年寄り向けもお願いします

・市の財務状態はだいたいわかったが、どういった姿に持っていきたいかよくわからない。例えば軽井沢（観光）と茅野を比較してみるとかしてイメージを示してほしい。

・何故頭金も無いのに永明の建設を決めたのか

まちづくり懇談会について

- ・まち懇は開催されているが、男性（全体的に高齢者）ばかりの状態。秋は例年どおりとして、春に①若い男女②子育てのお母さん③お父さんとか、ジャンルを区切って行ってみたいかがでしょうか？
- ・企業誘致の取組など初めてお聞きすることもあり、人口減少、少子化の問題と合わせ興味深くお聞きしました。
- ・会場の駐車場がまったく足りない。参加人数の想定と駐車場台数が合っていない。参加を呼びかけるのなら駐車スペースの確保くらいちゃんとしてほしい。参加者が徒歩で会場に来ればいいとでも思っているのか？
- ・2時間くらいの時間にしたらどうか
- ・まち懇のはじめに、財政の事を言われてしまうと何も言えない。気楽にみんなで語り合おうと言う雰囲気なかったです
- ・次はもっと具体的な行政について意見交換をしてください。具体的にはどうするんですか。
- ・開催日は、月末・月初は外して欲しい
- ・この懇談会に女性の参加が多くなるといいなあと思いました。または、女性のいるところでやってくれるといいなあ。

その他

- ・良い議論でした
- ・日曜日でも利用できるようにしてほしい（特に1F部署）
- ・観光税も考えてください
- ・コミュニティ職員を2名に戻してもらいたい
- ・市の取組や課題となっていることがよくわかりました
- ・茅野駅の東口にある 仮面の女神の大きな写真パネルを劣化のため撤去するそうですが、この大きな仮面の女神の写真パネルは縄文時代の国宝2体を有する茅野市のいわば 象徴的なものです。撤去後のことは分かりませんが、同様に 茅野市の象徴たる縄文 国宝の写真等を速やかに飾ることを強く望みます。仮面の女神は来年 国宝指定10周年を迎えます。国宝 指定時には市長をはじめ 市役所や考古館にて大変な盛り上がりがありました。茅野市の駅前から縄文の象徴を無くさないでほしい
- ・以前市議会議員に遊休農地の活用法など提言をしたことがあったが、農業委員会がどうか規制の縛りがどうか言われ、しまいには「これは各部署に直接話に行った方が伝わりやすい」などと言われる始末。これでは自由な発想を持った人たちがなんでも話せる環境に無く、「どうせ市は話なんて聞く気が無いんだろ」と思ってしまい何も発信する気持ちすら無くなる。今後は各課の人間がもっと話を聞く場を設ける等、どんどん市民の意見や提言など自由に話したものを吸い上げる事ができる様な環境を持っている様に柔軟性を持った対応を考えていただきたい。
- ・永明寺山に土地を所有しているが、不必要で山中の中で見た事行ったことないのでムダに固定資産税払いたくないので手放したい！子・孫へ不要な相続をなくしてあげたい。
- ・人口が減ってく、高齢化社会で税収が減るのに議員定数は減らない！なぜ？議員なんて無給でやれば良いのに！ふるさと納税 茅野市の返礼品魅力を感じないのはなぜ？駅周辺が寂しすぎる！パツとしない議員が多すぎる！
- ・まちづくり懇談会中、眠そうな議員さんがいましたが、自分の町の事なのに、興味がないんですかね…
- ・市民の意見を聞きながら事業を進めて行くのも良いとは思いますが、急がなければいけない進め方の取組もあると思うので、そこは臨機応変に対応して良いのではないかと。